

◆現在の、裾野の取組みについて

問7 市では次のような取組みを行っています。それぞれの項目について、あなたはどの程度満足していますか。また、その取組みは重要であると思いますか。

(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ1つずつ○)

ここで挙げる項目は『第3次裾野市総合計画後期計画』に定められた施策と対応する。※下表参照

① みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)

施 策		設 問 項 目	
1-1-1	健康づくりの推進	1	心身ともに健康で充実した生活を送る
1-1-2	保健・医療・福祉の連携	2	必要な時に適切な医療が受けられる
1-1-3	市民スポーツ・レクリエーションの推進	3	スポーツを習慣にした生活を送る
1-2-1	高齢者が生き生きできる福祉の推進	4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
1-2-2	ハンディキャップを克服できる福祉の推進	5	障害のある人の社会参加と自立
1-2-3 1-2-4	自立できる生活の充実 ボランティアで支える地域福祉の推進	6	地域住民が共に支えあって暮らす
1-2-5	子育て環境の充実	7	安心して子育てと就労が両立できる
1-3-1	人間性豊かな子どもを育てる教育の充実	8	人間性豊かな子どもを育てる教育
1-4-1 1-5-1	自ら学ぶ環境の充実 富士山を象徴とする文化の育成	9	生涯学習や文化活動の機会や場所
1-4-2	次世代を担う青少年の育成	10	次世代を担う健全な青少年を育てる
1-6-1	コミュニティ活動の充実	11	地域コミュニティ活動の活発化

② 人と自然が調和した環境快適都市(自然・環境・都市基盤・安全分野)

施 策		設 問 項 目	
2-1-1	美しいまち景観の創出	12	恵まれた自然景観の活用
2-1-2	きれいな環境の維持・創出	13	ごみ不法投棄や公害への対策
2-1-3	リサイクルの推進	14	リサイクル活動
2-2-1 2-2-2	緑豊かな環境の充実 公園・広場の充実	15	身近な緑の環境
2-3-1	水に親しむ空間の充実	16	きれいな川を守り、水に親しむ
2-3-2	山や川の災害を防ぐ	17	山や川の災害を防ぐ

2-4-1	安全な水の確保と水資源の有効活用	18	上・下水道事業
2-4-2	きれいな水の流れる環境の創出		
2-5-1	裾野駅周辺の市街地整備の推進	19	裾野の顔となる拠点市街地の整備
2-5-2	周辺部の拠点整備の推進		
2-6-1	住みよい住環境の充実	20	誰もが住みやすい住環境の整備
2-6-2	バランスのとれた土地利用配置	21	適切な土地利用がされている
2-7-1	便利で快適な道路網の充実	22	道路網の便利さ、快適さ
2-7-2	生活に便利な交通機関の充実	23	鉄道・バスの便利さ
2-8-1	地震災害対策の充実	24	地震災害対策
2-8-2	消防・救急体制の強化	25	消防・救急体制
2-8-3	犯罪からまちを守る対策の充実	26	犯罪からまちを守る
2-8-4	安全な交通環境の充実	27	交通安全対策
2-8-5	安全で豊かな消費生活の確保	28	安全で豊かな消費生活

③ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ(地域産業分野)

施 策		設 問 項 目	
3-1-1-	農業維持の体制づくり	29	農林業の活性化
3-1-2	林業の振興の充実		
3-2-1	緑豊かな工業地の確保	30	先進企業を核とした地場産業の活性化
3-2-2	先進企業の誘致と地場産業の育成		
3-3-1	にぎわいのある商業地の整備	31	にぎわいのある商業地づくり
3-3-2	創意と工夫による商業の振興		
3-4-1	新たな観光の創出	32	新たな観光地づくり
3-4-2	観光による地域の活性化		
3-5-1	裾野の魅力のPR	33	裾野市の全国に向けたアピール
3-5-2	時代に対応した情報の発信	34	時代に対応した情報の発信

④ 頑張る市民・支える市役所(市民主体・行財政分野)

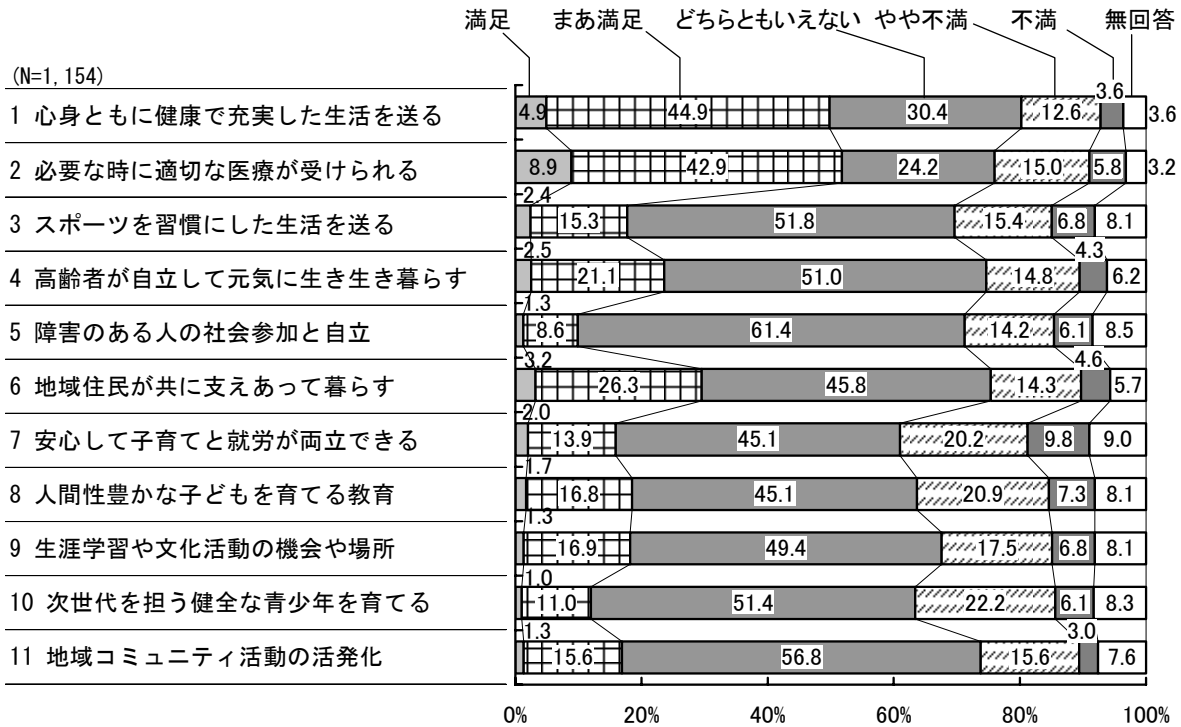
施 策		設 問 項 目	
4-1-1	市民の協働を目指した市民参加の推進	35	市民と行政の協働によるまちづくり
4-1-2	男女共同参画社会の推進	36	男女共同参画社会
4-1-3	透明性の高い行政運営の実現	37	市民のための行政サービス
4-1-4	開かれた議会活動の支援		
4-2-1	有効で効率的な行政運営確立		
4-2-3	活力ある組織人事の推進		
4-2-4	広域行政における連携の強化		
4-2-2	健全な財政運営の確保	38	健全な財政運営

満足度

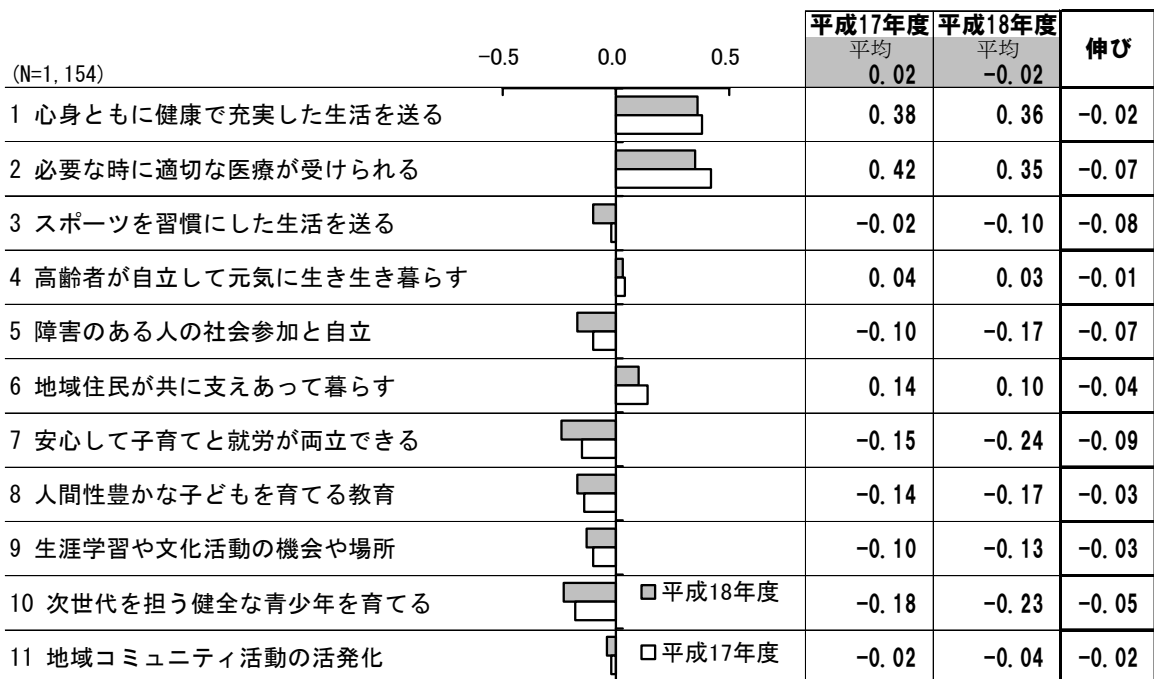
スコア：「満足」=2 「まあ満足」=1 「どちらともいえない」=0 「やや不満」=-1 「不満」=-2

※上記を回答人数に掛け、回答総数（無回答を除く）で除したもの

① みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)



■各項目のスコア比較



健康分野の満足度が高く、教育分野では低い。全体的に前回に比べて満足度が低下している。健康・福祉・教育分野の平均スコアは-0.02である。

健康・福祉・教育分野における満足度の高い項目は、『2 必要な時に適切な医療が受けられる』、『1 心身ともに健康で充実した生活を送る』の順で、いずれも「満足」と「まあ満足」を合わせて過半数になっており、健康・福祉・教育の分野の中で健康分野の満足度が高いといえる。一方、満足度の低い項目は、『7 安心して子育てと就労が両立できる』、『10 次世代を担う健全な青少年を育てる』で、「やや不満」と「不満」を合わせておよそ3割の回答になっており、育児、教育分野では満足度が低い結果になっている。

スコアでみると、前記したように、満足度の高い2つの健康分野は、スコアが0.3を超えて高い。一方、前記の教育分野は、-0.2以下であり、その差は0.6ポイント以上となっている。今回の調査における健康・福祉・教育分野の平均スコアは-0.02となっており、前回平成17年度調査の結果と比較すると、不満度が高まっている。スコアを比べると、今回はいずれも前回のスコアを下回り、伸び率はいずれの項目もマイナスとなっており、低下している。

② 人と自然が調和した環境快適都市(自然・環境・都市基盤・安全分野)



■各項目のスコア比較

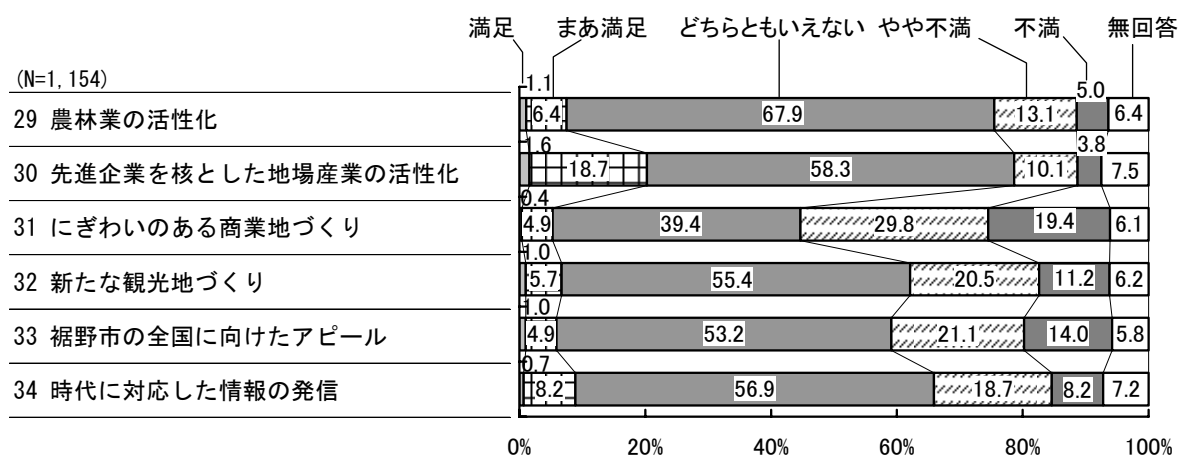
(N=1,154)	-1.0 -0.5 0.0 0.5	平成17年度	平成18年度	伸び
		平均 -0.15	平均 -0.14	
12 恵まれた自然景観の活用		0.06	0.09	0.03
13 ごみ不法投棄や公害への対策		-0.37	-0.34	0.03
14 リサイクル活動		0.26	0.37	0.11
15 身近な緑の環境		0.39	0.41	0.02
16 きれいな川を守り、水に親しむ		-0.07	0.04	0.11
17 山や川の災害を防ぐ		0.07	0.10	0.03
18 上・下水道事業		-0.06	-0.07	-0.01
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備		-0.62	-0.63	-0.01
20 誰もが住みやすい住環境の整備		-0.28	-0.31	-0.03
21 適切な土地利用がされている		-0.52	-0.58	-0.06
22 道路網の便利さ、快適さ		-0.55	-0.61	-0.06
23 鉄道・バスの便利さ		-0.81	-0.85	-0.04
24 地震災害対策		-0.17	-0.13	0.04
25 消防・救急体制		0.31	0.30	-0.01
26 犯罪からまちを守る		-0.15	-0.14	0.01
27 交通安全対策		-0.06	-0.06	0.00
28 安全で豊かな消費生活		0.01	-0.04	-0.05

自然・環境分野はゴミの不法投棄や公害を除いて高く、前回から満足度は上昇している。都市基盤は満足度が低い。また、前回からいずれも低下している。

自然・環境・都市基盤・安全分野における満足度の高い項目は、『14 リサイクル活動』、『15 身近な緑の環境』で、いずれも「満足」と「まあ満足」を合わせると半数に近く、自然・環境・都市基盤・安全分野の中で自然、環境分野の満足度が高くなっている。一方、満足度の低い項目は、『23 鉄道・バスの便利さ』、『22 道路網の便利さ、快適さ』、『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』、『21 適切な土地利用がされている』などで、「やや不満」と「不満」を合わせるといずれも半数前後を占めており、都市基盤の分野は満足度が低いといえる。

スコアでみると、比較的満足度の高い自然、環境分野で、『13 ごみ不法投棄や公害への対策』のみマイナススコアになっている。都市基盤については満足度の低い項目が多く、いずれもマイナススコアになっている。特に前記した4項目は-0.5以下である。安全分野については都市基盤に比べると満足度は高いが、『24 地震災害対策』や『26 犯罪からまちを守る』は-0.1以下と低く、『25 消防・救急体制』は0.3と高くなっている。今回の調査における自然・環境・都市基盤・安全分野の平均スコアは-0.14となっており、前回平成17年度調査の結果とはほとんど変化がない。スコアをグラフで比べると、自然、環境分野では前回の結果を上回る満足度もみられ、『14 リサイクル活動』、『16 きれいな川を守り、水に親しむ』で0.11ポイントずつ上昇している。

③ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ(地域産業分野)



■各項目のスコア比較

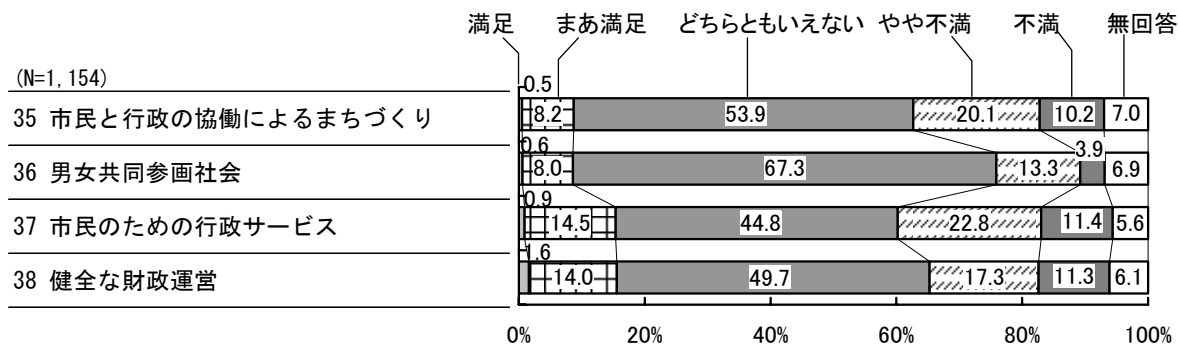
項目	スコア比較		平成17年度	平成18年度	伸び
	平均	伸び	平均	平均	
29 農林業の活性化	-0.15	0.00	-0.32	-0.31	0.00
30 先進企業を核とした地場産業の活性化	-0.02	0.07	-0.02	0.05	0.07
31 にぎわいのある商業地づくり	-0.62	-0.05	-0.62	-0.67	-0.05
32 新たな観光地づくり	-0.38	0.01	-0.38	-0.37	0.01
33 裾野市の全国に向けたアピール	-0.48	0.03	-0.48	-0.45	0.03
34 時代に対応した情報の発信	-0.26	-0.02	-0.26	-0.28	-0.02

施策4分類の中で最も平均スコアが低く、満足度が低い分野である。中では『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』の満足度が高く、伸びも大きい。

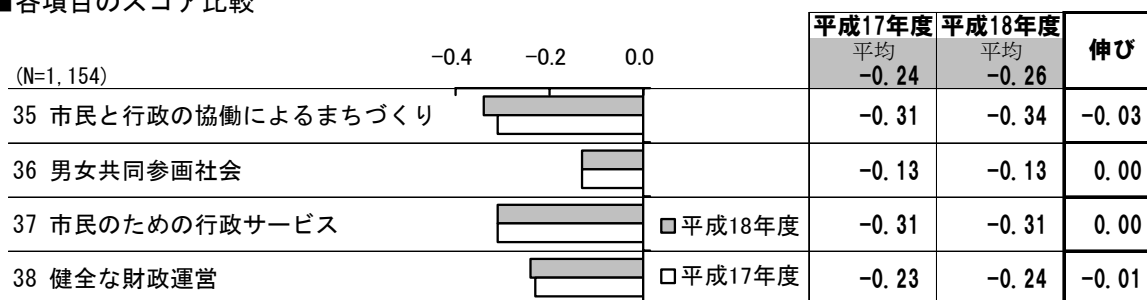
地域産業分野については「どちらともいえない」への回答が目立ち、やや関心の低い分野といえる。中では『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』の満足度が高く、「満足」と「まあ満足」の割合を合わせると2割を超える。一方、『31 にぎわいのある商業地づくり』は満足度が低く、「やや不満」と「不満」を合わせるとほぼ半数となっている。

スコアで見ると、『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』を除くすべてがマイナスで、平均では-0.31となっており、施策4分類の中で最も低いスコアとなっている。前回の調査と平均スコアはほとんど変化がみられない。伸び率はいずれもわずかな範囲の変動にとどまっているが、『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』は0.07ポイントの上昇となっている。

④ 頑張る市民・支える市役所(市民主体・行財政分野)



■各項目のスコア比較



『37 市民のための行政サービス』への関心が高い。
市民主体・行財政分野全体的には満足度が低い分野である。

市民主体・行財政分野では、『37 市民のための行政サービス』、『38 健全な財政運営』の満足度が高いが、前者は「やや不満」、「不満」の占める割合も高くなっており、関心の高い項目といえる。

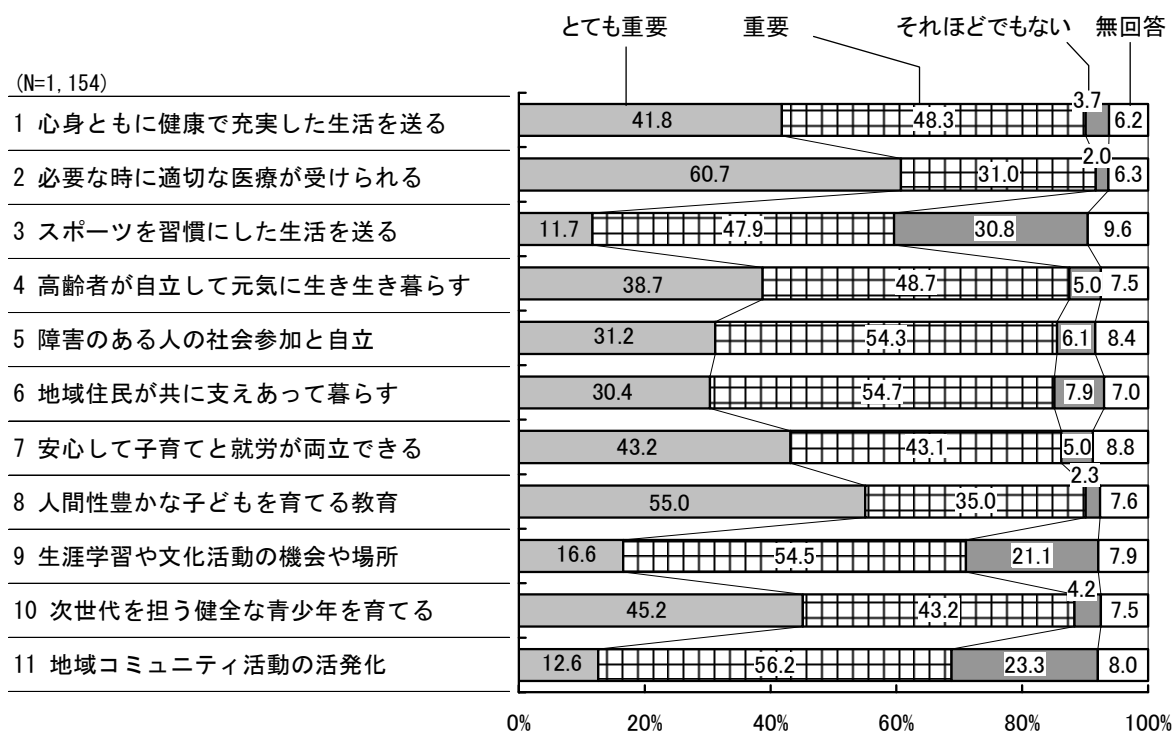
スコアはいずれもマイナスで、満足度の低い分野である。平均スコアは-0.26で、前回調査の平均スコアを下回り、わずかな差ではあるが、不満度が高まっているといえる。各項目の伸び率は小さく、ほとんど差はみられない。

重要度

スコア：「とても重要」=2 「重要」=1 「それほどでもない」=0

※上記を回答人数に掛け、回答総数（無回答を除く）で除したもの

① みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)



■各項目のスコア比較

項目	スコア比較		平成17年度	平成18年度	伸び
	0.0	1.0	平均 1.32	平均 1.27	
1 心身ともに健康で充実した生活を送る			1.51	1.41	-0.10
2 必要な時に適切な医療が受けられる			1.71	1.63	-0.08
3 スポーツを習慣にした生活を送る			0.86	0.79	-0.07
4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす			1.43	1.36	-0.07
5 障害のある人の社会参加と自立			1.35	1.27	-0.08
6 地域住民が共に支えあって暮らす			1.25	1.24	-0.01
7 安心して子育てと就労が両立できる			1.45	1.42	-0.03
8 人間性豊かな子どもを育てる教育			1.57	1.57	0.00
9 生涯学習や文化活動の機会や場所			1.02	0.95	-0.07
10 次世代を担う健全な青少年を育てる			1.46	1.44	-0.02
11 地域コミュニティ活動の活発化			0.94	0.88	-0.06

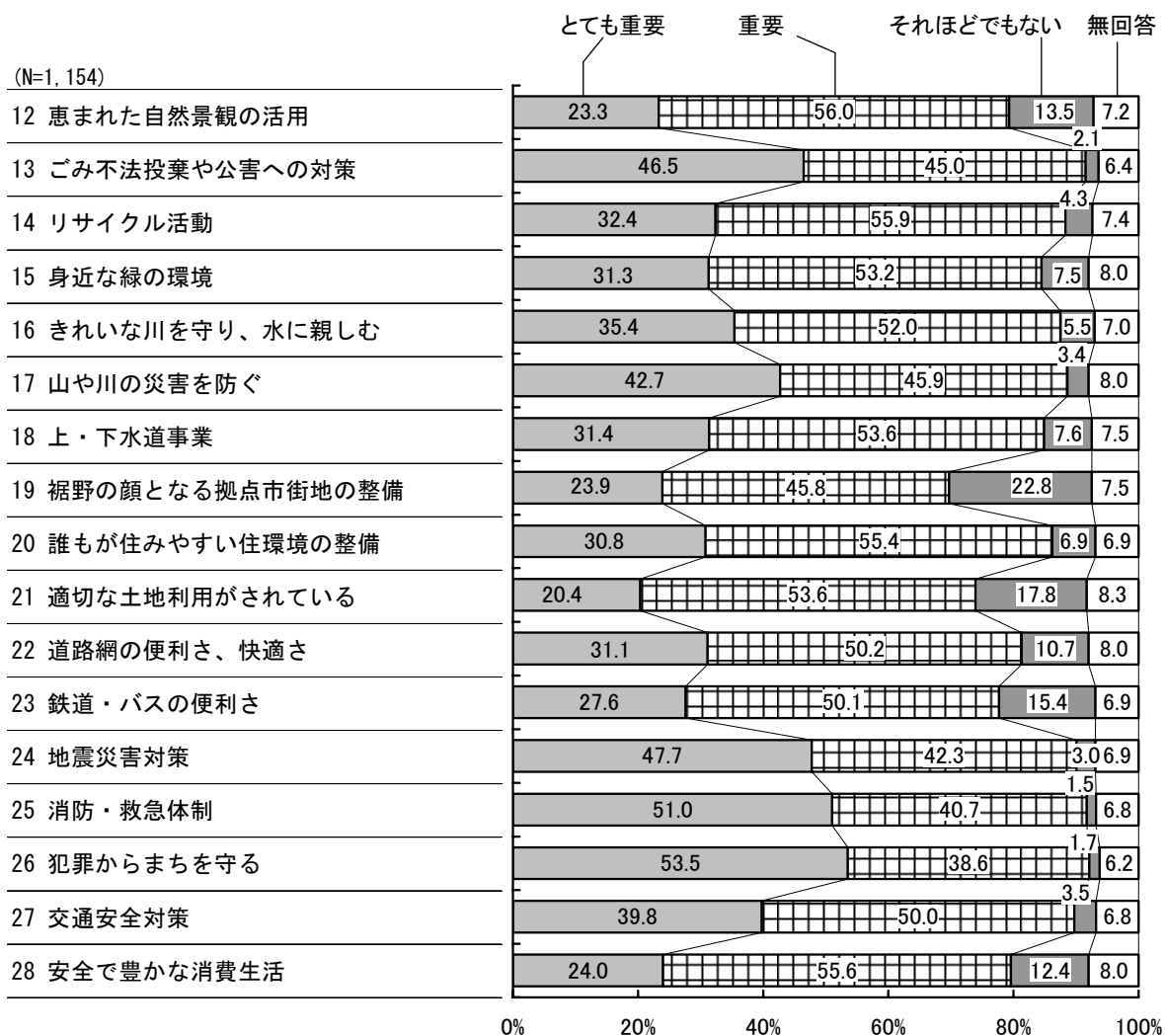
重要度の高い項目が多く、平均スコアは1.27。

前回の調査と比べると重要度が高まっている項目はみられない。

健康・福祉・教育分野における重要度は、「とても重要」、「重要」を合わせると多くの項目で8割～9割となっており、非常に高い。「とても重要」の高い項目は、『2 必要な時に適切な医療が受けられる』、『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』の順で、いずれも過半数を占めている。福祉の分野は、健康分野に比べて、重要度が高くなく、「とても重要」はいずれも3割台になっている。また、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』、『9 生涯学習や文化活動の機会や場所』、『11 地域コミュニティ活動の活発化』の3項目の重要度については、「それほどでもない」が2～3割を占めている。

満足度と同様にスコアでみると、前記した重要度の低い3つの項目は、いずれも1未満のスコアにとどまっているが、平均スコアは1.27である。前回調査と比較すると、重要度が低下している項目が多く、伸び率をみても伸びがみられる項目はひとつもない。

② 人と自然が調和した環境快適都市(自然・環境・都市基盤・安全分野)



■各項目のスコア比較

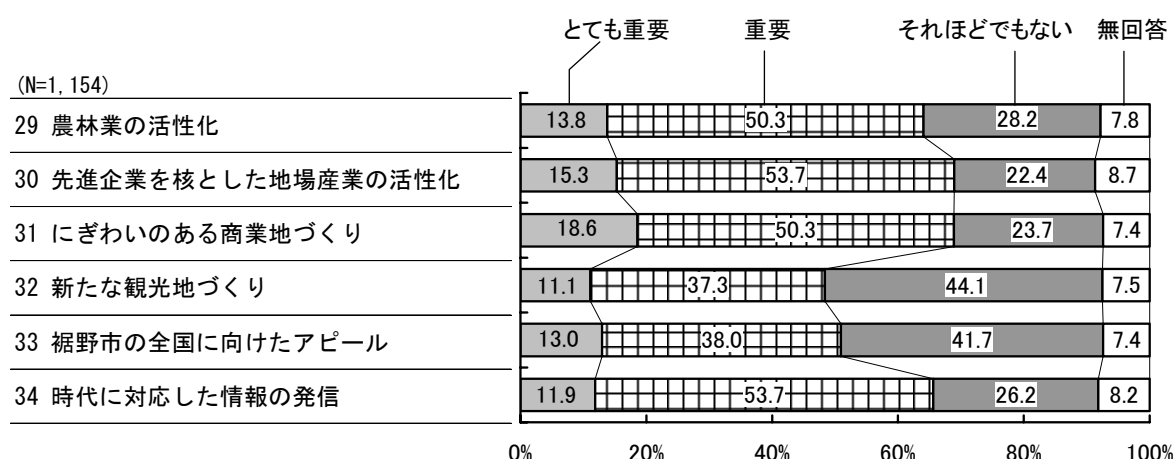
(N=1,154)	0.0	1.0	2.0	平成17年度	平成18年度	伸び
				平均 1.34	平均 1.29	
12 恵まれた自然景観の活用				1.13	1.11	-0.02
13 ごみ不法投棄や公害への対策				1.55	1.48	-0.07
14 リサイクル活動				1.38	1.30	-0.08
15 身近な緑の環境				1.33	1.26	-0.07
16 きれいな川を守り、水に親しむ				1.36	1.32	-0.04
17 山や川の災害を防ぐ				1.45	1.43	-0.02
18 上・下水道事業				1.31	1.26	-0.05
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備				1.07	1.01	-0.06
20 誰もが住みやすい住環境の整備				1.30	1.26	-0.04
21 適切な土地利用がされている				1.06	1.03	-0.03
22 道路網の便利さ、快適さ				1.24	1.22	-0.02
23 鉄道・バスの便利さ				1.22	1.13	-0.09
24 地震災害対策				1.60	1.48	-0.12
25 消防・救急体制				1.59	1.53	-0.06
26 犯罪からまちを守る				1.60	1.55	-0.05
27 交通安全対策				1.46	1.39	-0.07
28 安全で豊かな消費生活				1.15	1.13	-0.02

重要度は高く、平均スコアが1.29。
前回の調査と比較するといずれの項目も重要度が低下となっている。

自然・環境・都市基盤・安全分野における重要度は非常に高く、「とても重要」と「重要」を合わせると8～9割の項目が多い。低い項目でも7割前後は重要としている。特に安全分野の重要度は高く、「とても重要」が『25 消防・救急体制』、『26 犯罪からまちを守る』で過半数を占めており、さらに『24 地震災害対策』でも47.7%と半数近い割合になっている。一方、「それほどでもない」は『裾野市の顔となる拠点市街地の整備』をはじめ、都市基盤分野で高い割合になっている項目が多い。

スコアで見ると、いずれの項目も1を超えるスコアで、重要度が高いことがわかる。平均スコアは1.29で、健康・福祉・教育分野の平均スコアをわずかに上回っている。前回の調査と比較すると、すべての項目において前回を下回っている。

③ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ(地域産業分野)



■各項目のスコア比較

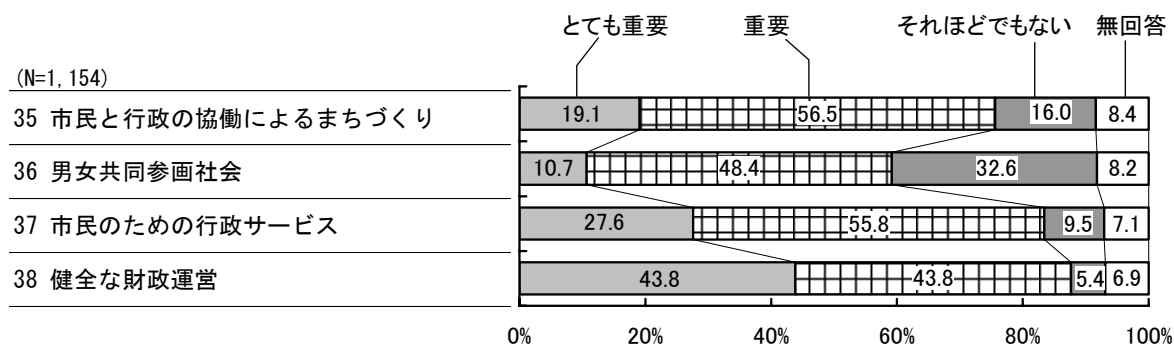
項目	スコア	平成17年度	平成18年度	伸び
		平均	平均	
(N=1,154)	0.0 1.0 2.0	0.85	0.81	
29 農林業の活性化		0.88	0.84	-0.04
30 先進企業を核とした地場産業の活性化		0.95	0.92	-0.03
31 にぎわいのある商業地づくり		0.99	0.95	-0.04
32 新たな観光地づくり		0.75	0.64	-0.11
33 裾野市の全国に向けたアピール		0.76	0.69	-0.07
34 時代に対応した情報の発信		0.76	0.84	0.08

重要度は施策4分類の中で最も低く、平均スコアが0.81。
 前回を下回る項目が多いなか、『34 時代に対応した情報の発信』のみ前回より高い。

地域産業分野の重要度は前述の分野までと比べて低く、「とても重要」「重要」を合わせて6～7割である。低い項目では半数に満たない。一方、「それほどでもない」が高く、『32 新たな観光地づくり』、『33 裾野市の全国に向けたアピール』についてはいずれも4割台の回答である。

スコアでみると、平均スコアが0.81と1を下回っている。前回と比較すると、ほとんどの項目で今回のスコアが下回っているが、『34 時代に対応した情報の発信』のみ0.08ポイント上回る結果となっている。

④ 頑張る市民・支える市役所(市民主体・行財政分野)



■各項目のスコア比較

項目	スコア	平成17年度	平成18年度	伸び
		平均 1.13	平均 1.10	
35 市民と行政の協働によるまちづくり	1.02	1.13	1.03	0.01
36 男女共同参画社会	0.85	1.13	0.76	-0.09
37 市民のための行政サービス	1.22	1.13	1.19	-0.03
38 健全な財政運営	1.43	1.13	1.41	-0.02

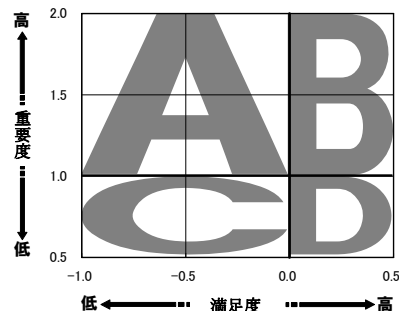
市民主体・行財政分野で重要度が高いのは『38 健全な財政運営』でスコアは1.41。
『36 男女共同参画社会』は重要度が低い。

市民主体・行財政分野では、『38 健全な財政運営』の重要度が高く、「とても重要」が43.8%を占めている。一方、「それほどでもない」が高い項目は『36 男女共同参画社会』で、32.6%を占めている。

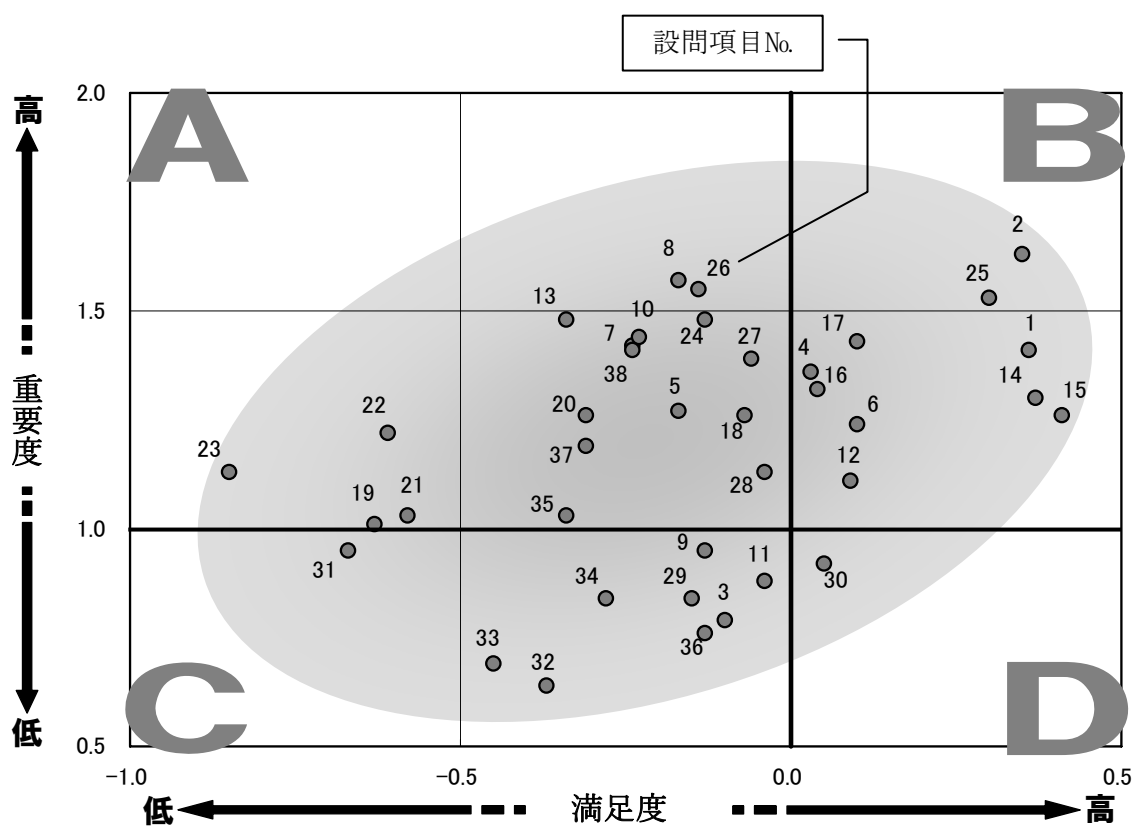
スコアは4項目中3項目で1以上となっているが、「それほどでもない」が高い割合である『36 男女共同参画社会』は1を割っている。前回と比較すると、4項目中3項目で下回り、特にスコアの低い『36 男女共同参画社会』は低下幅が大きくなっている。

満足度・重要度による施策の分析

- Aゾーン：改善・改革していく施策（低満足度×高重要度）
- Bゾーン：維持・充実していく施策（高満足度×高重要度）
- Cゾーン：見直し・縮小していく施策（低満足度×低重要度）
- Dゾーン：維持・縮小していく施策（高満足度×低重要度）



※各設問の満足度、及び重要度を前記のように点数化（スコア）し、横軸を満足度、縦軸を重要度とし、分布状況をマトリクス的にとらえ、4領域に分類する。



* 施策項目No.は次頁表参照

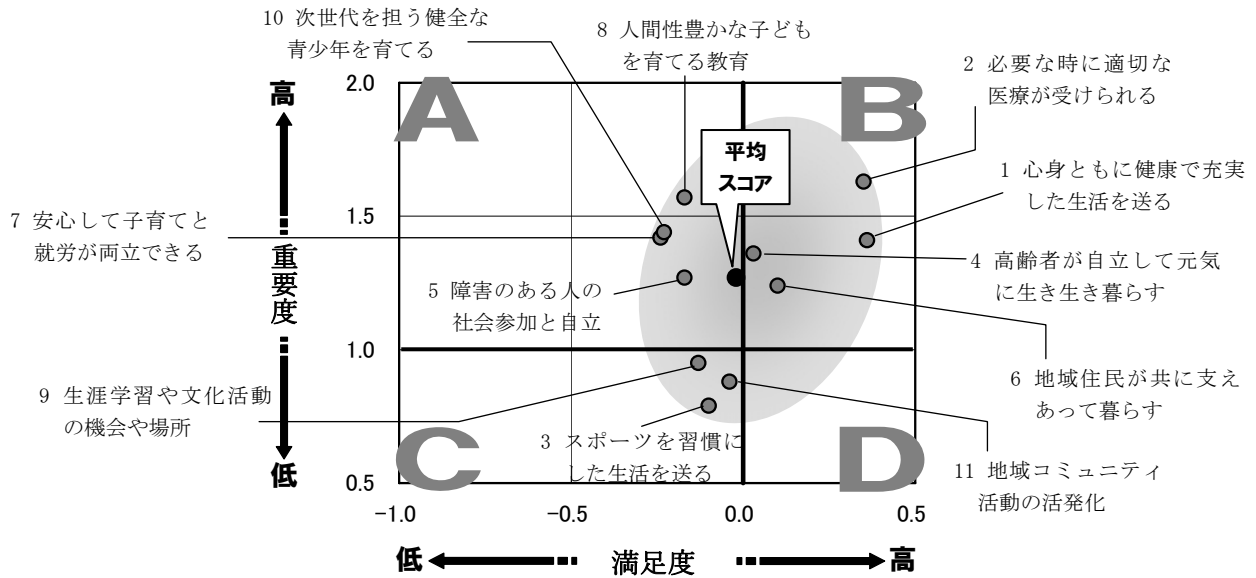
満足度が低くなく、重要度の高いAゾーンに多くの項目が集まっている。
自然・環境・都市基盤・安全の分野は特に多い。

全体的に、満足度が低くないが、重要度が高いAゾーンに項目が多く集まっている。特に、施策4分類の②の分野である自然・環境・都市基盤・安全で項目が多くなっており、重点的に改善・改革を進める必要のある分野といえる。

『第3次裾野市総合計画後期計画』における分野別×4領域（ゾーン）別

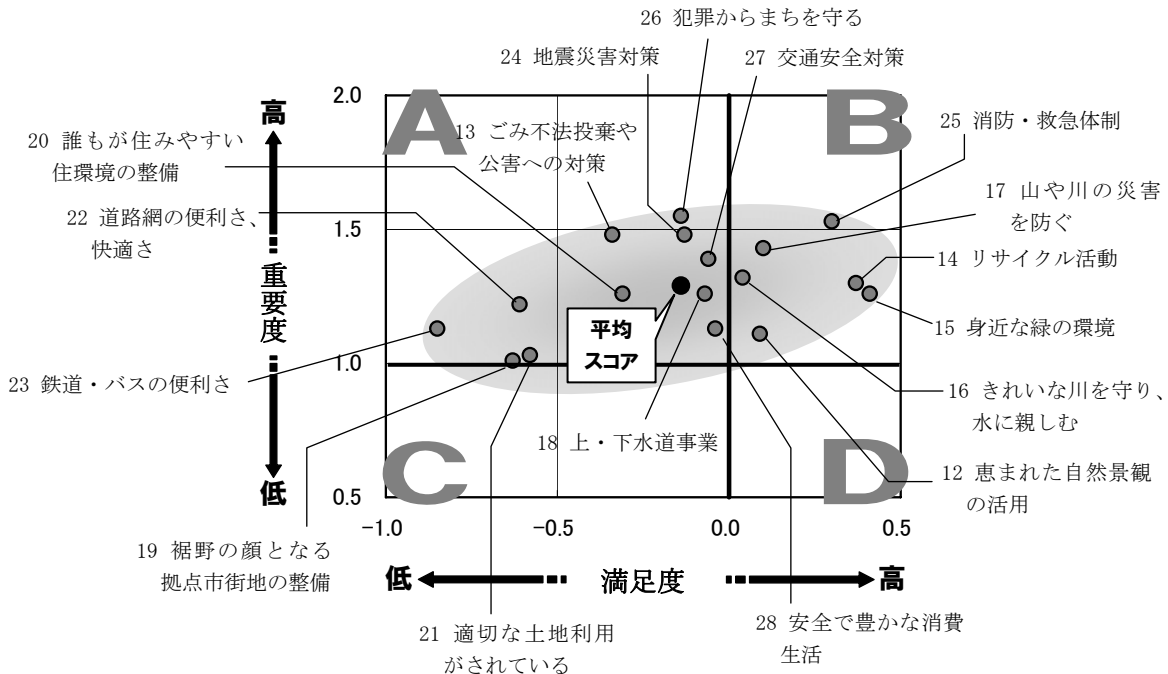
	Aゾーン:改善・改革 低満足度×高重要度	Bゾーン:維持・充実 高満足度×高重要度	Cゾーン:見直し・縮小 低満足度×低重要度	Dゾーン:維持・縮小 高満足度×低重要度
1 健康・福祉・教育	5 障害のある人の社会参加と自立 7 安心して子育てと就労が両立できる 8 人間性豊かな子どもを育てる教育 10 次世代を担う健全な青少年を育てる	1 心身ともに健康で充実した生活を送る 2 必要な時に適切な医療が受けられる 4 高齢者が自立して元気に生き暮らす 6 地域住民が共に支えあって暮らす	3 スポーツを習慣にした生活を送る 9 生涯学習や文化活動の機会や場所 11 地域コミュニティ活動の活発化	
2 自然・環境・都市基盤・安全	13 ごみ不法投棄や公害への対策 18 上・下水道事業 19 裾野の顔となる拠点市街地の整備 20 誰もが住みやすい住環境の整備 21 適切な土地利用がされている 22 道路網の利便さ、快適さ 23 鉄道・バスの利便さ 24 地震災害対策 26 犯罪からまちを守る 27 交通安全対策 28 安全で豊かな消費生活	12 恵まれた自然景観の活用 14 リサイクル活動 15 身近な緑の環境 16 きれいな川を守り、水に親しむ 17 山や川の災害を防ぐ 25 消防・救急体制		
3 地域産業			29 農林業の活性化 31 にぎわいのある商業地づくり 32 新たな観光地づくり 33 裾野市の全国に向けたアピール 34 時代に対応した情報の発信	30 先進企業を核とした地場産業の活性化
4 市民主体・行財政	35 市民と行政の協働によるまちづくり 37 市民のための行政サービス 38 健全な財政運営		36 男女共同参画社会	

① みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)



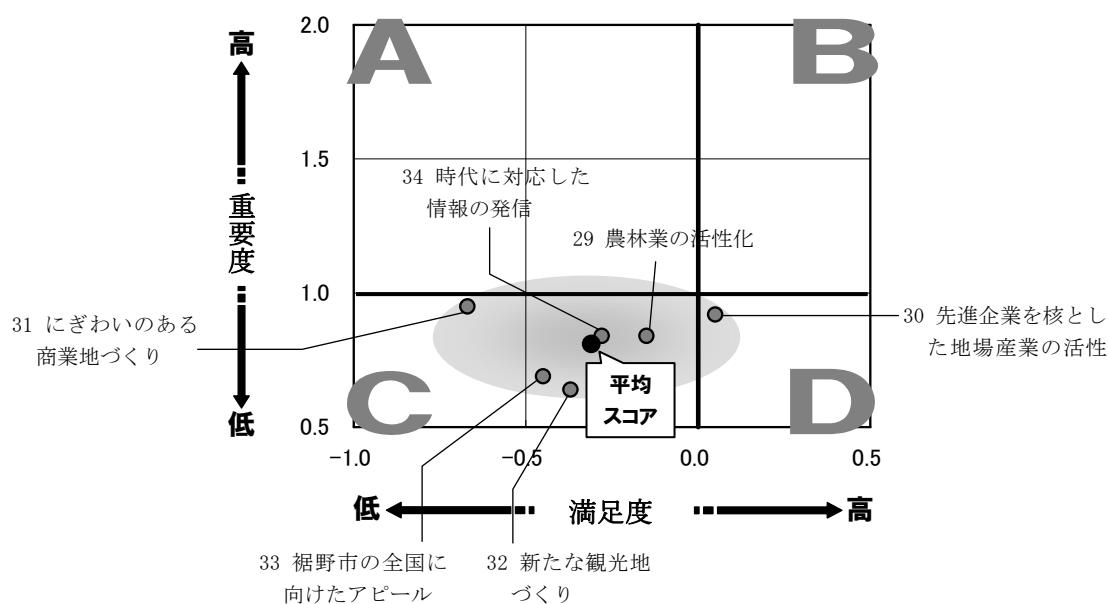
健康・福祉・教育分野は、全施策の中で満足度、重要度の高い項目が多く、Bゾーンである維持・充実を中心にスコアが集中している。平均スコアもAゾーンとBゾーンの境目に位置し、満足度が-0.02、重要度が1.27となっている。

② 人と自然が調和した環境快適都市(自然・環境・都市基盤・安全分野)



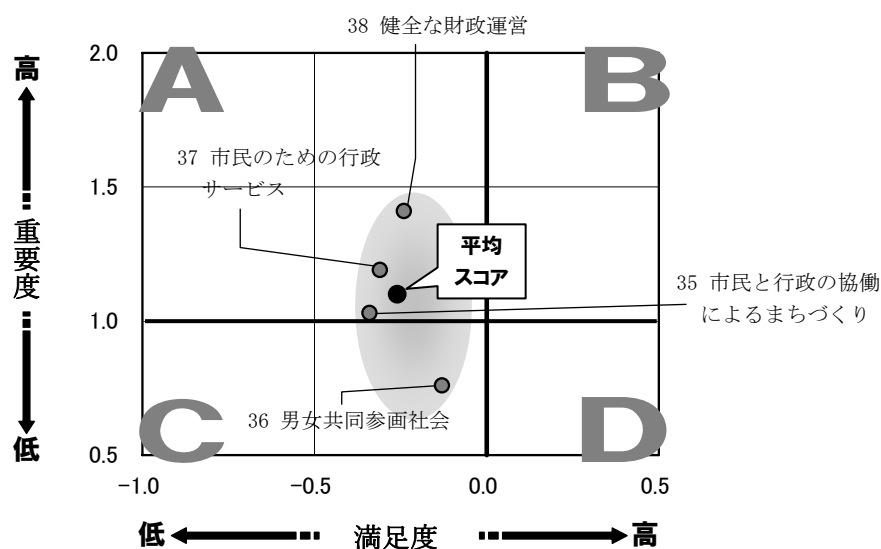
自然・環境・都市基盤・安全分野は、満足度の低い項目、高い項目と極端に差があるが、重要度は1~1.5 スコアの範囲内である項目が多い。ゾーンではAゾーンに集中しており、改善・改革が必要とされる項目が多いといえる。平均スコアは満足度が-0.14、重要度が1.29である。

③ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ(地域産業分野)



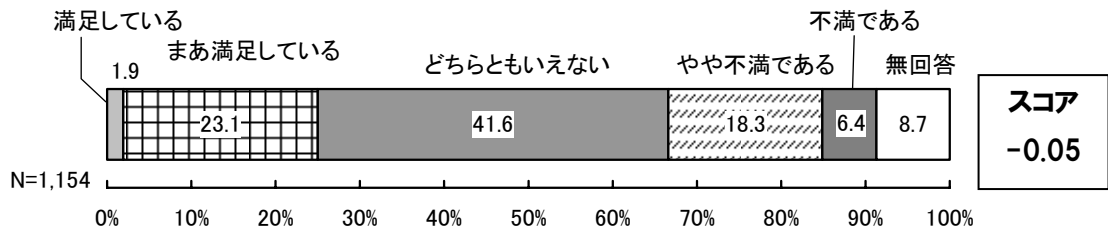
地域産業分野のほとんどはCゾーンになり、全体的に重要度は低い。見直し・縮小していく方向性の項目が集まっている。平均スコアもCゾーンに位置し、満足度が-0.31、重要度が0.81となっている。また、この地域産業分野で唯一Dゾーンが存在している。

④ 頑張る市民・支える市役所(市民主体・行財政分野)



市民主体・行財政分野は、満足度、重要度ともほぼ真ん中に位置しており、ゾーンとしてはAゾーンに位置する項目が多い。平均スコアは満足度が-0.26、重要度が1.10である。

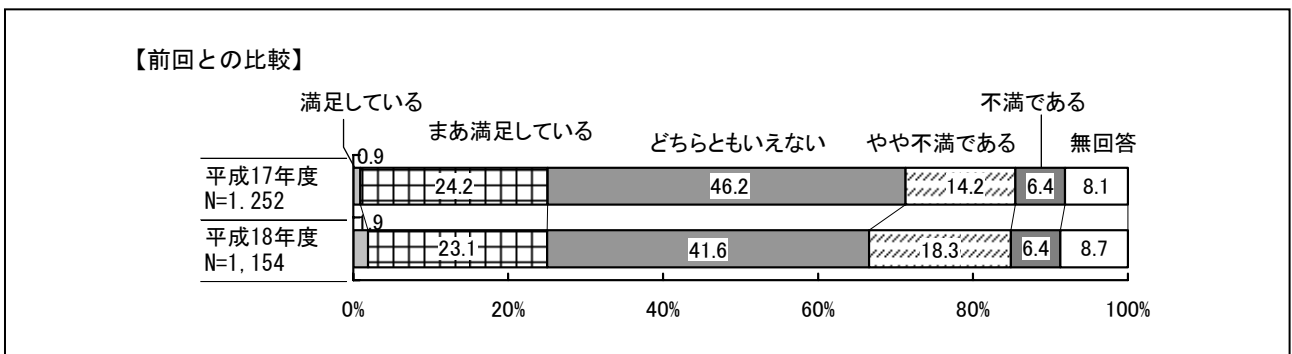
問8 市の政策全体について、どの程度満足していますか。(1つに〇)



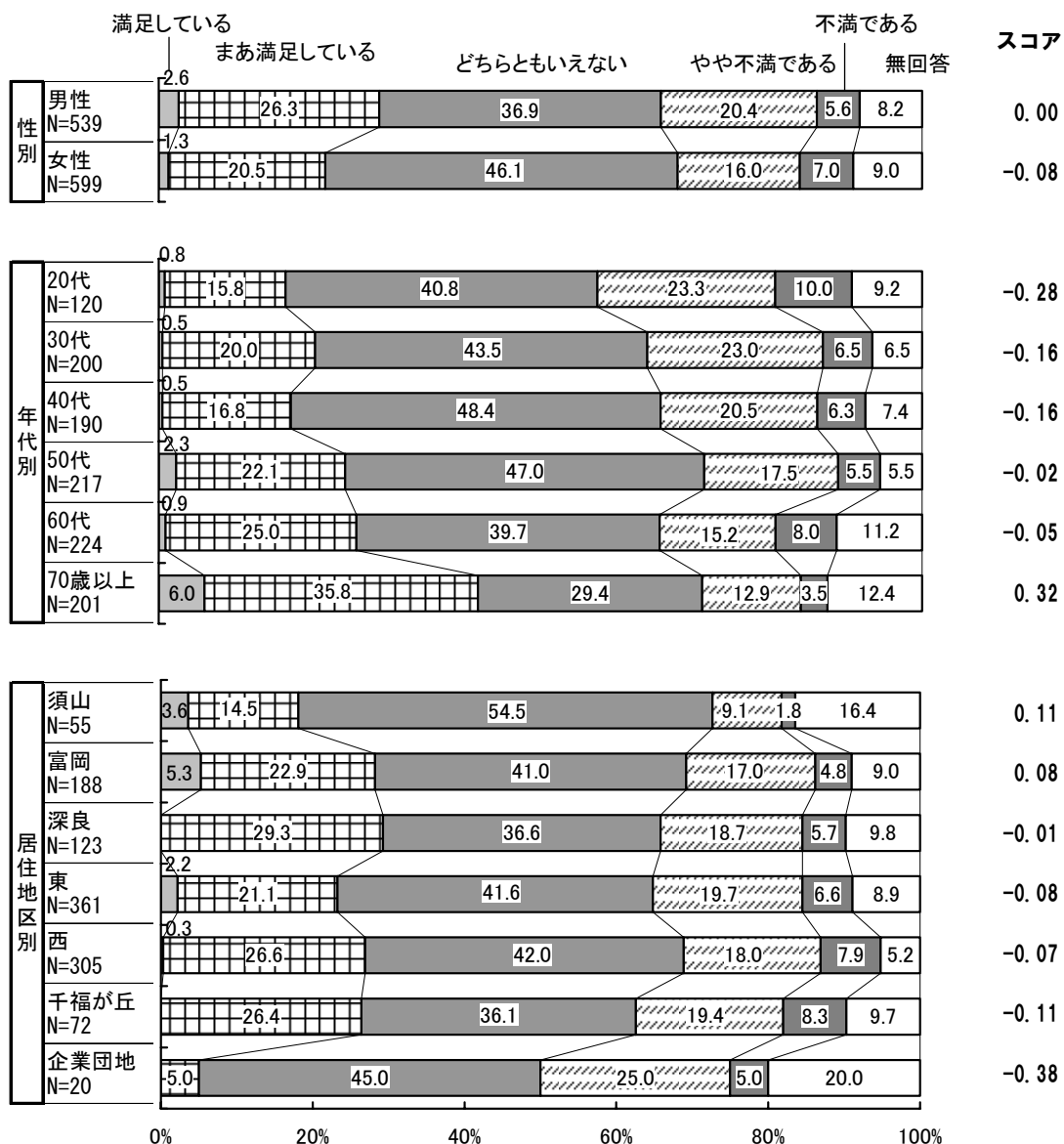
市政全体の満足度は“不満”が“満足”をわずかに上回り、スコアが-0.05。年代が高いほど満足度は高い傾向。

市の政策全体に対する満足度は、「満足している」が1.9%、「まあ満足している」が23.1%で、合わせると“満足”は25.0%と、4人に1人の割合となっている。一方、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”は24.7%で、“満足”よりわずかに低くなっている。ただし、スコアで見ると、-0.05とマイナス評価となっている。

下記のグラフのように、前回の調査と比較すると、“満足”はほとんど変化がないが、「やや不満である」が前回より4.1ポイント高くなっている。



【属性別】



性別にみると、「満足」への回答は男性が女性を大きく上回っているが、「不満」への回答も女性より高い割合となっている。満足度をスコアにしてみた場合、男性の満足度の方がわずかに高くなっている。

年代別では、「満足」は年代が高いほど高い傾向であり、スコアで見ると60代で若干低くなっているものの、全体的に年代が高くなるほど概ねスコアも増加している傾向にある。

居住地区別にみると、「満足している」は富岡で最も高く5.3%となっている。「まあ満足している」は深良で29.3%と最も高い。しかし、深良は「不満」への回答も少なくない。類似の傾向は千福が丘にもみられる。スコアで見ると、須山で「不満」への回答が少なく、0.11と最も高くなっている。また、満足度が低いのは企業団地で、スコアは-0.38である。